

2026 年 EBC 医療機器・IVD 委員会 報告書

2026 年 8 月 5 日に九段会館テラスにて講演会並びに情報交換会を開催しました。

講演会では、3 名の講師をお招きし、100 名を超える参加者でした。衆議院議員：国光あやの氏、神戸大学：姉崎久敬氏、MEJ: 渋谷健司氏。

国光氏は外務副大臣としての公務のためビデオメッセージを頂き、新地域医療構想・診療報酬改定・骨太の方針から見た今後のイノベーションについて、姉崎氏からは RWD/KDB を活用した Patient Journey 分析と、政策・臨床への展開、渋谷氏からは Patient Journey を起点とした日本初発ヘルスケア産業、インド太平洋諸国に展開する MExx、国際連携・共創の方向性について講演していただきました。



講演会全体の流れとしては**「疾病中心の医療から、未病・予防・健康寿命を重視する医療へ」→「RWD・AI による Patient Journey の可視化」→「医療機器・サービスを含むヘルスケア産業の国際展開」**という流れが明確な構成でした。

また、医療機器・IVD 業界への示唆として、RWD、AI、継続モニタリング、アウトカム評価、医療機器＋サービスのソリューション化、国際実証・海外展開まで踏み込んで整理した内容でした。



講演会後の情報交換会では、厚労省前事務次官である伊原氏、医務技監である迫井氏をはじめ、厚労省の各局、経産省、内閣府、PMDA より挨拶を頂き、その他業界団体、駐日欧州代表部、オランダ大使館、スイス大使館等よりメンバー企業の代表者を含み 110 名を超える参加者で時間の限り交流、意見交換を行うなど盛況な会となりました。